

令和5年度 第77回千葉県中学校総合体育大会 バasketボールの部 総評

第77回千葉県中学校総合体育大会Basketボールの部は、八千代市民体育館をメイン会場として、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。

選手権大会が天候の影響でベスト4決定戦までで終えたため、新人戦以来の優勝決定戦となる男子のベスト4には、選手権ベスト4の五井（市原）、ちはら台南（市原）を筆頭に、新人戦優勝の海神（船橋）、初ベスト4の大網（山武）が進出した。

準決勝の五井と海神の対戦は、新人戦、選手権に続き3度目の対戦となった。両チームとも硬さが見られた立ち上がりだったが、海神は④駒木のポストプレイやミドルジャンパー、3P、五井は⑤稲村の速攻や④永野のドライブで応戦し、一進一退の攻防を繰り返す。後半に入り、五井は⑧ガルシアを中心に得点を重ね、決勝へ駒を進めた。

もう一方の大網とちはら台南の準決勝は、お互い激しいディフェンスからのトランジションバスケットを展開し、終始一進一退の攻防が続いた。ちはら台南はリバウンドからの速攻、⑧平野のドライブイン、一方大網は⑩風間の3Pやドライブ、⑦山田のインサイドを中心に攻めたが、最後はちはら台南が⑨仲村の3P等で突き放し、接戦を制して決勝進出を決めた。

同支部同士の対戦となった五井対ちはら台南の男子決勝戦。同支部対戦となった男子決勝戦、両チームともハーフコートディフェンスからスタート。序盤は走り合いとなり、お互い中々得点が決まらない展開となるが、ちはら台南が⑩永尾のジャンプシュート、④栗原のドライブが連続で決まると流れを掴み、リードを広げる。対する五井も④永野、⑥小原の得点で応戦するが、第1Qで10点ビハインドの苦しい立ち上がりとなった。第2Qに入り、五井は④永野のジャンプシュートやリバウンドシュート、3Pが連続で決まり、差を詰めるが、ちはら台南も速攻や1対1で着実に得点を重ね、前半を22-35のちはら台南リードで折り返す。

第3Q序盤、お互いディフェンスのプレッシャーを上げ、得点できない我慢の時間が続くが、五井が⑧ガルシアのレイアップやステップイン、⑤稲村の3Pで詰め寄り、最終Qを迎える。第4Qに入り、ちはら台南⑩永尾のスティールから④栗原がリバウンドシュートを決めると、そこから両チームの一進一退の攻防が続く。五井は⑥小原が3P、リバウンドシュートを決め、流れを引き寄せるが、対するちはら台南も⑧平野を中心に落ち着いてシュートを決め、追従を許さない。そのままちはら台南が逃げ切り、初優勝を果たした。

両チームともめまぐるしい攻守の切り替え、激しいぶつかり合い、ひたむきに戦う姿勢の見られる決勝戦であった。県代表として関東・全国に挑んでもらいたい。

女子のベスト4には、新人戦を制した昭和学院（市川・浦安）をはじめ、新人戦ベスト4の市川六（市川・浦安）、昨年度ベスト4の習志野一（習志野）、初めてベスト4入りとなった吾妻（印旛）が進出した。

準決勝、昭和学院と吾妻の対決は、激しいディフェンスから主導権を握った昭和学院が④山本の3P、⑨佐々木のドライブを中心にオフェンスを展開し、得点を重ねていく。一方の吾妻も⑦平山のドライブ、④谷口の3Pで追いつくが、昭和学院はディフェンスのプレッシャーを緩めず、流れを渡さずに決勝への駒を進めた。

習志野一と市川六の準決勝は、市川六は⑩津野地の3Pシュートや⑤川島の1対1で得点して流れを掴み、試合を優勢に進める。対する習志野一は④小山⑤森のインサイド、⑦松延の3Pなどで攻め追撃をはかるが、市川六が⑤川島⑦志村の1対1でリードを広げ、最後まで追いつく習志野一を振り切り、決勝進出を果たした。

男子と同じく同支部同士の対戦となったこの試合、両チームとも堅実なディフェンスで簡単には得点を許さず、24秒オーバーのブザーが何度も鳴るロースコアな展開でスタートした。第2Q、市川六⑤川島がこの試合初めてドライブから得点し突き放しにかかる。対する昭和学院は、ハイピックやドライブ、インサイドの合わせなど、多彩なオフェンスで追撃する。両者一步も譲らない戦いは、市川六が5点リードで前半を折り返す。

第3Q、市川六は昭和学院④山本をフェイスガードし、得点を封じる。昭和学院もオールコートでプレッシャーを強め、点差を縮めようとするも、④山本がファウルトラブルに陥り、その隙に市川六が⑤川島を中心に得点し、リードを広げる。昭和学院も⑨佐々木が攻守ともに活躍し食らいつき、37-45で最終Qへ突入する。第4Qに入り、昭和学院がどのポジションからもリズム良く得点し、点差を縮める。さらに④山本が交代直後に3Pを決めて流れをつくり、残り2分30秒でついに逆転し、昭和学院がこの試合初めてリードする。最後まで食らいつく市川六だったが、そのまま昭和学院がリードを守り、昨年度に引き続き優勝を果たした。同支部で良く知っているチーム同士だからこそ、お互いの強みを封じる素晴らしいゲームであった。健闘を称えるとともに、両チームの関東大会での活躍を期待したい。

男女ともに上位2校は、8月7日から栃木県宇都宮市で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の特権を得られる。激戦区関東を勝ち抜き、全国大会への切符を手にしてほしい。なお、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議終了後、千葉県ジュニアバスケットボール連盟のウェブサイトに掲載を予定している。

最後に、新型コロナウイルス感染症予防に万全を期して大会準備・運営をくださった八千代支部、印旛支部、山武支部、東総支部の関係者の皆様、駐車場の案内整理をはじめ、係、TOなどに御協力いただき、円滑に大会を運営していただいたことに、連盟一同感謝申し上げます。

【男子】

優勝 市原市立ちはら台南中学校（市原） **関東大会出場**
準優勝 市原市立五井中学校（市原） **関東大会出場**
第3位 大網白里市立大網中学校（山武）
船橋市立海神中学校（船橋）

【女子】

優勝 昭和学院中学校（市川・浦安） **関東大会出場**
準優勝 市川市立第六中学校（市川・浦安） **関東大会出場**
第3位 成田市立吾妻中学校（印旛）
習志野市立第一中学校（習志野）